

2023年度 大学院(修士課程)入学試験目次

【問題】

基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈有鍵楽器(ピアノ)〉	2
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈有鍵楽器(オルガン)〉	4
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈管楽器・打楽器・弦楽器〉	6
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈声楽〉	8
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈作曲〉	10
基礎科目:西洋音楽史[共通問題]	12
基礎科目:音楽理論[和声]〈有鍵楽器・音楽教育〉	14
基礎科目:音楽理論[和声]〈管楽器・打楽器・弦楽器・声楽〉	15
基礎科目:音楽理論[対位法]〈器楽・声楽・音楽教育〉	16
専攻科目:作曲〈作曲専攻〉	17
基礎科目:音楽学概論〈音楽学専攻〉	19
専攻科目:専攻分野筆記〈音楽学専攻〉	20
専攻科目:専攻分野筆記〈音楽教育専攻〉	21
著作権に関して	22

【解答例】

基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈有鍵楽器(ピアノ)〉	23
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈有鍵楽器(オルガン)〉	25
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈管楽器・打楽器・弦楽器〉	26
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈声楽〉	27
基礎科目:西洋音楽史[専攻問題]〈作曲〉	28
基礎科目:西洋音楽史[共通問題]	29

- * 受験該当者のいなかった科目、選択されなかった問題は掲載をしていません。
- * 外国語、楽書解読の問題は著作権法の関係で掲載をしていません。(P. 22参照)

2023年度 大学院修士課程 基礎科目 西洋音楽史

イ. [専攻問題]

〈有鍵楽器(ピアノ)〉 ※音楽教育専攻を含む

問題

以下の①から⑧までの音楽作品のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① A. シェーンベルク：《ピアノ組曲》Op.25

② J. S. バッハ：《フランス組曲》BWV812-817

③ J. ブラームス：《ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ》Op.24

④ M. ラヴェル：《クープレランの墓》

⑤ J.=Ph. ラモー：《新クラヴサン組曲》

⑥ W. A. モーツァルト：ピアノ・ソナタ イ長調 K. 331/300i

⑦ R. シューマン：《交響的練習曲》Op.13

⑧ A. de カベソン：《騎士の歌によるディフェレンシア》

＜有鍵楽器(オルガン)＞ ※音楽教育専攻を含む

問題

以下の①から⑧までの音楽作品、用語、人物のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① リチェルカーレ

② コラール前奏曲

③ メカニカル・アクション

④ カヴァリエール

⑤ F. メンデルスゾーン：《6つのオルガン・ソナタ》Op.65

⑥ J. S. バッハ：《トッカータとフーガ ニ短調》BWV565

⑦ C. フランク：《6つの作品》

⑧ D. ブクステフーデ：コラール・ファンタジー《輝く明けの明星は》BuxWV223

〈管楽器・打楽器・弦楽器〉 ※音楽教育専攻を含む

問題

以下の①から⑧までの音楽作品のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① K. ペンデレツキ：《広島の犠牲者のための哀歌》

② H. ベルリオーズ：《幻想交響曲》

③ A. コレッリ：《ソナタ・ダ・カメラ》Op.4 から任意の1曲、またはOp.4全体

④ A. シェーンベルク：《オーケストラのための変奏曲》Op.31

⑤ J. ハイドン：交響曲第100番 ト長調 《軍隊》

⑥ G. F. ヘンデル：《水上の音楽》

⑦ G. マーラー：交響曲第2番 ハ短調 《復活》

⑧ G. ガブリエリ：《ピアノとフォルテのためのソナタ》

〈声楽〉 ※音楽教育専攻を含む

問題

以下の①から⑧までの音楽作品または用語のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① 「トロバドゥール」と「トルヴェール」

② G. フォーレ：《レクイエム》

③ F. シューベルト：《魔王》と《糸を紡ぐグレートヒェン》

④ G. ヴェルディ：《リゴレット》

⑤ F. ヘンデル：《メサイア》

⑥ R. シュトラウス：《4つの最後の歌》

⑦ ジョスカン・デ・ブレの定旋律ミサ曲

⑧ W. A. モーツァルト：《魔笛》

＜作曲＞

問題

以下の①から⑧までの音楽作品または用語のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① K. シュトックハウゼン：《少年の歌》

② P. プーレーズ：《構造 I》

③ C. ドビュッシー：《牧神の午後への前奏曲》

④ G. リゲティ：《ル・グラン・マカーブル》

⑤ 偶然性の音楽

⑥ ミクロポリフォニー

⑦ 多調性（複調）

⑧ シュプレヒゲザング

ロ. [共通問題]
〈器楽・声楽・作曲・音楽教育〉

問題

以下の①から⑧までの音楽作品のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽の特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① R. ヴァーグナー：《ニーベルングの指環》

② C. ジャヌカンのシャンソン

③ W. A. モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番または第21番

④ G. マーラー：交響曲第2番《復活》

⑤ J. S. バッハ：《マタイ受難曲》

⑥ A. ヴィヴァルディのヴァイオリン協奏曲集

⑦ G. de マシヨー：《ノートルダム・ミサ曲》

⑧ F. ショパン：《エチュード集》Op.10またはOp.25

2023年度 大学院修士課程 基礎科目 音楽理論

イ. [和声]
〈有鍵楽器・音楽教育〉

次のバス課題、およびソプラノ課題を四声体で実施しなさい。

バス課題



ソプラノ課題



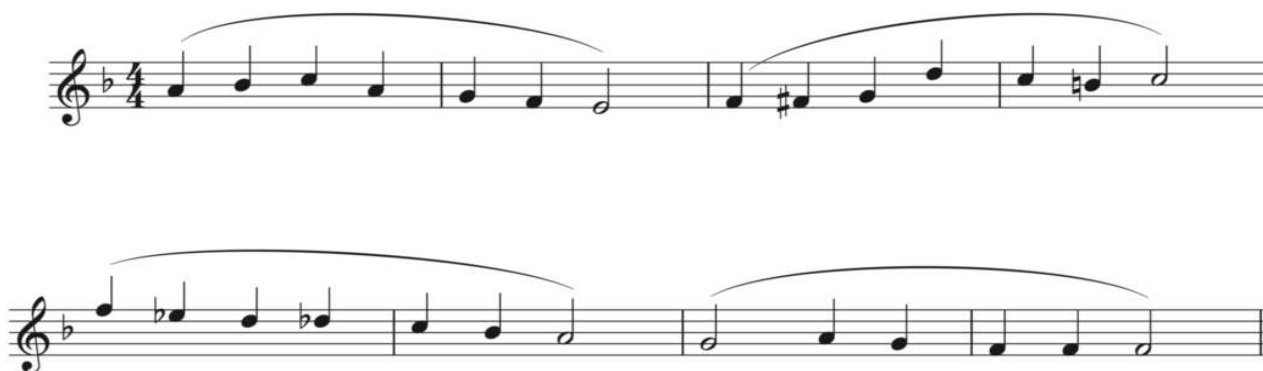
〈管楽器・打楽器・弦楽器・声楽〉

次のバス課題、およびソプラノ課題を四声体で実施しなさい。

バス課題



ソプラノ課題



ロ.〔対位法〕
＜器楽・声楽・音楽教育＞

〔対位法〕を選択した受験該当者がいなかったため、問題の掲載はしていません。

2023年度 大学院修士課程 専攻科目 〈作曲専攻〉

Ⅱ. [実技試験]

〈a〉

次の(1)から(7)の素材の中から1つを選び、楽曲を完成させなさい。

なお、使用する楽器を明記すること。符尾のない音符の長さは自由とする。

Moderato

(1) 

(2) 

(3) 

Andantino

(4) 

Allegro moderato

(5) 

(6)

Allegro con brio

Violoncello

Piano

f

f

< b >

※歌詞の課題は本学図書館で閲覧してください。

2023年度 大学院修士課程 基礎科目 音楽学概論 〈音楽学専攻〉

受験該当者がいなかったため、問題の掲載はしていません。

イ. [共通問題]

ロ. [選択問題]
 〈 西洋音楽 〉

 〈 日本音楽 〉

 〈 民族音楽 〉

2023年度 大学院修士課程 専攻科目 専攻分野筆記〈音楽学専攻〉

受験該当者がいなかったため、問題の掲載はしていません。

2023年度 大学院修士課程 専攻科目 専攻分野筆記〈音楽教育専攻〉

受験該当者がいなかったため、問題の掲載はしていません。

著作権に関して

大学院修士課程の入学試験で実施される「外国語科目」、作曲専攻の作曲実技における「歌詞」ならびに音楽学専攻の「楽書解説」については、著作権法の関係でこの問題集には掲載していません。過去3年間(2021年度～2023年度)に出題された問題は、本学図書館にて閲覧することができます。希望者は図書館にて所定の手続きを行ったうえで閲覧をしてください。

2023年度 大学院修士課程 基礎科目 西洋音楽史 解答例

イ.[専攻問題]

〈有鍵盤器(ピアノ)〉 ※音楽教育専攻を含む

問題

以下の①から⑧までの音楽作品のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① A. シェーンベルク：《ピアノ組曲》Op.25

西洋音楽史で重要な音楽作品や用語などをバランスよく勉強していることが求められる問題である。また、解答欄の5行の範囲内で、必要十分な情報を的確に整理して書くことが求められる。解答例をひとつだけ示す。

② J. S. バッハ：《フランス組曲》BWV812-817

③ J. ブラームス：《ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ》Op.24

④ M. ラヴェル：《クーブランの墓》

⑤ J.=Ph. ラモー：《新クラヴサン組曲》

⑥ W. A. モーツァルト：ピアノ・ソナタ イ長調 K. 331/300i

18世紀後半、ウィーン古典派の作品である。従来の説より早い時期であることが研究から明らかになったため、作品番号がK. 331からk. 300iに変更になった。3楽章構成であるが、どの楽章にもソナタ形式は用いられていない。第1楽章変奏形式であるのに加え、「トルコ行進曲」と通称される第3楽章には、トルコ軍楽隊を想起させる書法が使用されており、そこから当時のウィーンにおけるトルコ趣味が反映されている。また同時代のフォルテ・ピアノに「トルコ・ペダル」が付けられている点から、ピアノの変遷においてペダルが多様化した時代の作品と言える。

⑦ R. シューマン：《交響的練習曲》Op.13

⑧ A. de カベソン：《騎士の歌によるディフエレンシア》

＜有鍵楽器(オルガン)＞ ※音楽教育専攻を含む

問題

以下の①から⑧までの音楽作品、用語、人物のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① リチェルカーレ

西洋音楽史で重要な音楽作品や用語などをバランスよく勉強していることが求められる問題である。また、解答欄の5行の範囲内で、必要十分な情報を的確に整理して書くことが求められる。解答例は有鍵楽器（ピアノ）を参照のこと。

② コラール前奏曲

③ メカニカル・アクション

④ カヴァイエ＝コル

＜管楽器・打楽器・弦楽器＞ ※音楽教育専攻を含む

問題

以下の①から⑧までの音楽作品のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① K. ペンデレツキ：《広島に犠牲者のための哀歌》

西洋音楽史で重要な音楽作品や用語などをバランスよく勉強していることが求められる問題である。また、解答欄の5行の範囲内で、必要十分な情報を的確に整理して書くことが求められる。解答例をひとつだけ示す。

② H. ベルリオーズ：《幻想交響曲》

19世紀前半のフランスで作曲された標題交響曲である。全5楽章で構成されており、作曲家自身による詳細な解説文と各楽章に標題が付けられている点から、標題交響曲という新しいジャンルの始まりに位置する。全5楽章に一貫して「イデー・フィクス（固定楽想）」が用いられ、そのイデー・フィクスは各楽章で変容という技法で使用されている。この作曲技法は、後の交響詩やヴァーグナーのライトモチーフにも影響を与えたと考えられる。

③ A. コレリ：《ソナタ・ダ・カメラ》Op.4 から任意の1曲、またはOp.4全体

④ A. シェーンベルク：《オーケストラのための変奏曲》Op.31

〈声楽〉 ※音楽教育専攻を含む

問題

以下の①から⑧までの音楽作品または用語のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① 「トロバドゥール」と「トルヴェール」

西洋音楽史で重要な音楽作品や用語などをバランスよく勉強していることが求められる問題である。また、解答欄の5行の範囲内で、必要十分な情報を的確に整理して書くことが求められる。解答例をひとつだけ示す。

② G. フォーレ：《レクイエム》

③ F. シューベルト：《魔王》と《糸を紡ぐグレートヒェン》

1810年代にドイツ歌曲を芸術歌曲へと昇華させたシューベルトの最初の一歩となった歌曲が、ゲーテの詩に基づく《魔王》と《糸を紡ぐグレートヒェン》である。両者とも有節形式を採らず、詩の形式に則って作曲され、ピアノ声部が詩の表現に積極的関与する。前者ではピアノが風すさぶ風景を描き出し、子供にしか見えない魔王の姿を暗示する。後者では、ピアノが糸車の音型を模しながら、グレートヒェンの心理に踏み込んで表現する。ここから歌曲史が動き出した。

④ G. ヴェルディ：《リゴレット》

＜作曲＞

問題

以下の①から⑧までの音楽作品または用語のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① K. シュトックハウゼン：《少年の歌》

西洋音楽史で重要な音楽作品や用語などをバランスよく勉強していることが求められる問題である。また、解答欄の5行の範囲内で、必要十分な情報を的確に整理して書くことが求められる。解答例をひとつだけ示す。

② P. ブーレーズ：《構造 I》

③ C. ドビュッシー：《牧神の午後への前奏曲》

19世紀フランスの作曲家、クロード・ドビュッシーが作曲した管弦楽作品。作曲は1892年から94年にかけて行われた。作品自体は8分の9拍子で書かれているが、フルート独奏による冒頭の主題提示では、その拍節感が明瞭でない。この点において、《牧神の午後への前奏曲》では、19世紀までの音楽において一般的には明瞭だった拍節の周期性（規則性）が欠けていると言える。また、記譜されている調号はシャープ4つだが、半音階主体の主題により、楽曲全体の調性が冒頭部分から明確なわけではない。そのため、この作品は20世紀音楽の開始点とみなされることがある。

④ G. リゲティ：《ル・グラン・マカーブル》

ロ.[共通問題]
＜器楽・声楽・作曲・音楽教育＞

問題

以下の①から⑧までの音楽作品のすべてについて、時代（時代区分、世紀、およその年代など）、国や地域、ジャンル、様式、形式、楽曲・楽章構成、編成、音楽の目的、音楽的特徴などを具体的に挙げながら、西洋音楽史における位置付けを説明しなさい。問いの①から⑧は時代順には並んでいないので注意すること。

① R. ヴァーグナー：《ニーベルングの指環》

19世紀後半のドイツで活躍したヴァーグナーがギリシャ悲劇を理想とした「総合芸術」の理念によって創作した4部作の楽劇である。音楽と歌詞と演技が密接に結びついたオペラを創作するに当たり、ヴァーグナーは音楽外の事物や観念などを暗示させる「ライトモチーフ（示導動機）」を約100個もオーケストラに担わせ、登場人物の心理や背後に流れる過去を描き出した。各幕は連続する音楽によってドラマの一貫性を実現した。以後のオペラ創作に多大な影響を及ぼした。

② C. ジャスカンのシャンソン

西洋音楽史で重要な音楽作品や用語などをバランスよく勉強していることが求められる問題である。また、解答欄の5行の範囲内で、必要十分な情報を的確に整理して書くことが求められる。解答例を上にとつだけ示す。

③ W. A. モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番または第21番

④ G. マーラー：交響曲第2番《復活》